

# ひまわり

No.317号

## 地域の中のつながり

私たちが関わる患者さんの人生には、実に多くの方々に関わっています。医療従事者のみならず、家族、友人、仕事の同僚（元同僚）、近所の知り合い、学校、役所、よく利用する飲食店、商店、理髪店など、個人に差はあれ一人一人の生活は多くの方々との関わりで成り立っています。

そういった地域内のあらゆる関わりが、健康を、医療をより良いものにしていく可能性を十分に持っている私たちは考えています。

例えば、学校の調理実習で塩分は多すぎない方がいいことを学んだお子さんの一言が家庭の調理内容を変えるかもしれません。AED講習を受けた、普段は医療従事者ではない方が、突然倒れた方の命を救うこともしばしば私たちは耳にします。私たちの関わる診療の中でも、在宅医療の経験をした患者さんのご家族が、別の患者さんやそのご家族が辛い時の支えになったり、ボランティア活動を始めて新たな患者さんの救いになることも少なくありません。医療は医療従事者のみのものでなく、地域のあらゆる方々がもつ、知識や力、つながりや思いやりによって支えられているものだとよく実感します。

このような、地域の方々もつ、地域の中の健康や命を支える力をつないでいくこと、これも私たちの役割の一つだと考えています。また、地域の中には、医療やサービスが届きにくい方々もおられることも実感します。そこにはもちろん行政の方々が大きな役割を果たしていただいているのですが、私たちも同じように、誰一人取り残すことのないよう届きにくい場所にも適切で十分な医療を届けることにも力を注ぎたいと考えています。

先日、Public Health Palliative Care Internationalという、緩和ケアをパブリックヘルスの視点で考える国際学会がありました。その中で、ニュージーランドの方がマオリ族の言葉を紹介しており、とても印象的でした。

He aha te mea nui o te ao  
(世界で最も大切なものはなんでしょう)

He tangata, he tangata, he tangata  
(それは人です、それは人です、それは人です)

人と人のつながりが持つ力。これからの医療に、命をうけとめるまちづくりには欠かせないものだと信じています。これからもそのつながりが持つ力を大切に、地域の皆さんと共に歩いていけたらと考えています。(副院長 西村)

第29回奈良大会は、2日間に亘り奈良県コンベンションセンターにて開催されました。

大会のテーマは「今ここからはじめる」で、このテーマには、地域に暮らしている子どもから高齢者までみんなが豊かで幸せを感じられる社会にしていくために、大会に参加した方が、様々な企画に参加するなかで「私も何かできることがある」と思うことや気づきによって、「今ここからはじめてみよう」と行動を起こせるようなきっかけとなる大会になってほしいという思いが込められています。

大会は、9つの会場で40を超える企画が行われ、地域共生や子どもたちの教育に焦点を当てた講演・シンポジウム、様々なワークショップなど、どれも参加したくなるような企画ばかりで、2日間で全国各地から800名を超える参加者が一堂に会しました。



なお、大会初日の10月の第2土曜日は世界ホスピス・緩和ケアデーと重なっており、私はその企画の会場で行われていたポスター展示に出展しました。私の作品以外にも全国の皆さんが制作した世界各地のポスターで、緩和ケアの現状を知り、歴史を深く学ぶことができました。

来年の全国大会は、仙台市戦災復興記念館で、2023年10月28日(土)・29日(日)に開催されます。来年の開催も楽しみにしています。(地域医療推進室 森重)

### 世界ホスピス・緩和ケアデー企画



展示ポスターは世界各国12枚のポスターが集まりました

展示発表の様子→



### 口演発表 & 鼎談「子どもの人生会議」



院長二ノ坂建史は自身の口演発表(左)と、鼎談に飛び入り参加(右)

### ボランティア部会



全国からボランティアが集まってくれました

## Hats On For Children's Palliative Care 2022

10月14日(金) 小さなたねより

世界中には2,100万人を超える重い病気や障がいを抱えている子どもたちがいます。しかし、十分なケアを受けられているのは、この中でたったの1%と言われており、残りの子どもたちは、適切なケアを受けられないまま生活を過ごしているのが現状です。

10月の第2金曜日は、これらの子どもたちに、痛みの緩和や症状のコントロールをもたらし、可能な限りより良い生活を過ごしていけるようにという願いを込めて『世界中で緩和ケアを必要とする子どもたちのために、みんなで帽子をかぶろう！』という活動の日です。

この日には、子どものホスピスと緩和ケア(CPC)への関心を、多くの人に広めるために、帽子を被って写真を撮ったり、SNS等で『#HatsOn4CPC』というハッシュタグを使用して投稿したりします。

写真は、小さなたねのスタッフ達が、帽子をかぶって撮影した時の様子です。世界中の子どもたちが、適切な緩和ケアを受けられるよう心から願っています。



## 五ヶ山オカリナコンサート2022

3年ぶりに開催

10月16日(日) 五ヶ山豆腐店

福岡と佐賀の県境にある五ヶ山豆腐店で、毎年行ってきた「オカリナコンサート」ですが、コロナ禍の影響により、ここ2年間は中止せざるを得ない状況が続きました。

今年は、五ヶ山豆腐店(愛しとーと経営)のご協力のもと、そしてバングラデシュと手をつなぐ会や小さなたね、その他多くの方の応援もあり、ようやくオカリナコンサートを復活させることができました。

開催当日は、直前まで天候が心配されていましたが、最後まで雨が降ることもなく、山の音楽家Shanaさんや有志のグループによる心地よいオカリナの音色が、山々に響き渡っていました。



# Event 催し物・イベントのご案内



## 予防接種について



### インフルエンザ予防接種

今年も当院では、インフルエンザ予防接種を行っています。詳細はお尋ねください。

予約は不要です

・65歳未満の方  
接種料金：3,800円

・高齢者のインフルエンザ予防接種

個人負担金：1,500円

期間：令和5年1月31日まで

対象者：

福岡市に住民票があり、下記に該当する方。

- ① 65歳以上の方
- ② 60歳以上65歳未満で心臓、腎臓、もしくは呼吸器の機能やヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能の障害がある方。  
(身体障害者手帳1級相当)

月・火・木・金曜日  
午前中(祝日前日を除く)

## 感染症拡大防止のために



### 在宅患者さん・ご家族 同居の皆さまへ

ご自宅の体温計で、訪問診療前に体温測定をお願いします。血圧計などもお持ちであれば、血圧測定もお願いします。

訪問中～前後で、ご自宅・お部屋の換気をお願いします。滞在時間はできるだけ短くなるよう努めます。

## クリニックからのお願い



### 新型コロナウイルス感染症対策 ～発熱時の受診について～

**発熱もしくは風邪症状のある方は  
お車の中で待機していただくか**

**こちらが指定した時間に**

**受診していただくことで**

**発熱や風邪症状のある方との接触を  
できる限り避けるようにしています**



発熱または風邪症状のある方は  
まずはお電話にてご相談ください  
受診できる時間や受診する方法について  
ご案内いたします

にのさかクリニック  
☎ 092-872-1136

症状や経過によっては、  
他の医療機関へ受診をお願いする場合があります



**定期の受診、その他の症状で受診される方は  
できるだけ12時までの受診をおすすめします**

皆様のご理解とご協力をお願いいたします

		月曜日	火曜日	水曜日	木曜日	金曜日	土曜日
9:00	午前	外来診療		訪問診療	外来診療		
13:00		昼休み	健康教室		昼休み		休診
14:00	午後	訪問診療			訪問診療		
17~18:00		※外来診療			※外来診療		

※ 午後5：00～6：00の外来診療は、訪問診療の都合により診療開始時間が遅れる場合や診療ができない場合がございます。診察をご希望の方は、事前にお電話いただけると幸いです。